



学校運営協議会委員長 寺尾様と地域学習へ

前途洋々

2月19日（木）の4時間目、3年生が地域のことをより深く学ぶため、学校運営協議会委員長でもられる寺尾様のガイドにより、船津地区の探検に出かけました。私は残念ながら同行できなかったのですが、子供たちにとっては初めて知ることばかりで、とても興味深く聴いていたそうです。船津は、昔大変栄えていた地区で、様々な商店や知る人ぞ知る名所もあり、寺尾様から説明があるたび、子供たちはとても驚いていたそうです。映画館の話や、ここから船に乗って出かけていた話など、私もよく家族から聞いていました。ちなみに、坂を下ったところに古本屋さんがあったと記憶しています。よく漫画本を借りていました。懐かしいです。地域のことを知れば知るほど地元への誇りや愛着が生まれます。このようなお話が聞ける機会がどんどん貴重になっていく中、子供たちには、今回の話をぜひ覚えておいてほしいです。寺尾様には、お忙しい中大変お世話になりました。



4・6年が三角小の西港ガイド活動に参加

2月26日（木）の午前中、三角小学校が毎年実施している「三角西港ガイド」の活動に参加してきました。今回本校から参加したのは、4・6年生。4年生は、少し前に宇城市教育委員会から学芸員の方をお招きして、西港のことを学ぶ機会がありました。また、三角小へ出向いて、一緒に国語の授業を受ける機会もありました。6年生は、あと1ヶ月足らずで一緒に学ぶ仲間が中心となって進めるガイド活動への参加ですから、そういった意味でも、どちらの学年も大変充実した時間になったと思います。

さて、三角小では、地元の世界遺産への理解を深め、将来にわたって遺産を守り伝えていくための活動の一環として、ガイド活動に取り組まれています。「明治日本の産業革命遺産」つながりで、毎年荒尾の万田小学校と連携して学習を進めておられるのでご存じの方もいらっしゃると思います。当日はスタンプラリー形式で8カ所をまわり、それぞれの場所で三角小6年生による説明を聞きました。なんと、三角小の先生方の計らいで、6年生が三角小の6年生と一緒にガイドする側にもまわらせてもらいました。素晴らしい天気のもと、同じ町で学ぶ仲間としての一体感がおおいに高まったと思います。



三角小の先生から活動の説明を受ける本校の子供たち。

旧裁判所の建物はレトロな雰囲気にあふれています。



旧裁判所から見下ろした風景。とても美しいです。



三角小の子供たちと一緒にガイドする側にも立ちました。



旧三角海運倉庫の前で説明を受ける本校の子供たち。

